

牛久市図書館協議会議事概要		日時	令和5年2月14日（火曜日）
件名	令和4年度第1回図書館協議会	場所 時間	牛久市立中央図書館 視聴覚室1 13:30～15:00
作成年月日	令和5年2月17日（金曜日）	作成者	教育委員会中央図書館：諏訪部
出席者	（出席委員）佐々江健治、大高稔子、加藤壮次郎、小林宏恵、庄司京子、関根順子、立花勝行 （牛久市）吉田茂男（教育部長）、高橋頼輝（次長） （事務局）斎藤正浩（館長）、池田健一（課長補佐）、諏訪部なずな（主事） （傍聴者）0名 <div style="text-align: right;">（順不同・敬称略）</div>		
議事内容	1. 牛久市立中央図書館の運営状況について 2. 牛久市立中央図書館の開館時間の見直しについて 3. 「子どもの読書活動の推進計画（第3次）」策定について 4. その他		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. あいさつ 教育部長： 3月にはマスクの着用が個人の判断となり、コロナの分類も5月には5類になる見通しで、徐々に以前の生活が戻ってくるように思います。図書館は元々夜9時まで開館していましたが、コロナ禍で一旦短縮した後、実際の利用も鑑みて適切な開館時間について、昨年ご審議いただき、その答申の内容で実際にやってみようとなり、これまでやってきた結果を今日発表させていただきながら、今後、コロナが終わった後の新しい生活様式の中の図書館について皆さんにご意見いただければ幸いです。 3. 委員自己紹介 4. 職員紹介 5. 議事 1) 報告 報告第1号 牛久市立中央図書館の運営状況について 上記内容について、事務局より資料に基づき内容説明を行った。 委員長：牛久市立中央図書館の運営状況について、ご質問ご意見はございますか。 委員：年代別貸出状況を見ると中高生の割合があまりにも少ない。図書館としてこれからどうしたらいいかなど、何か考えはあるのでしょうか。 事務局：中高生の貸出は他のどの年代よりも低い割合で、この年が特別少ないということではありません。貸出に限らず、この年代の方々が積極的に図書館を利用するような方策をとっていく必要があると認識しています。後の議題にもあります「牛久市子ども読書活動推進計画（第3次）」でも、市内の子どもの読書について市をあげて推進していくこととしています。 委員：中高生は学校や部活、塾もあるので、普段なかなか図書館に寄らないのは理解できるが、どうにかしていかなければならない問題だと思います。 委員長：子どもに対する貸出が少ない気がしますが、紙芝居などの貸出数を見ると、親が子どものために借りているのではないのでしょうか。こういったところを充実させていければ将来の読書熱が戻ってくる可能性があるのかなと思います。			

事務局：当館のカード利用の規則として2親等以内の親族であれば他者のカードであってもサービスを受けられるというものがあります。このことから、お子さんのカードで親御さんが借りる、逆に親御さんのカードでお子さんの本を借りることが起こり得、結果として、必ずしも実態と集計した年齢が合致するとは限らないという現状がございます。何のために借りているのかは図書館としては分かり兼ねますが、一定数の需要があることは統計からも明らかでありますので、そういった需要に対して支援ができるよう努力してまいりたいと思います。

委員：利用者登録状況で児童が0歳から15歳、一般が16歳以上となっているけれども、0歳などは児童と叫ばないので、未就学児は別に分けるべきではないでしょうか。

事務局：ご意見として承り、検討いたします。

委員：ベストリーダー、とてもいいと思います。先程あった中高生の利用にも関係するところなのですが、ベストリーダーに中高生の区枠はないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。ご指摘の通り、いわゆるヤングアダルト世代向けの資料だけをまとめたベストリーダーは現状ございません。これは、ヤングアダルトという区分は当館の独自分類であり、システム上はヤングアダルトという区分はなく集計が困難であるためです。リストなど別の手段で本をおすすめすることはしておりますが、ヤングアダルト世代にどんな本が人気であるか一目で分かる資料はないので、検討してまいりたいと思います。

## 2) 議題

### 議題第1号 牛久市立中央図書館の開館時間の見直しについて

上記内容について、事務局より資料に基づき内容説明を行った。

委員長：牛久市立中央図書館の開館時間見直しについて、ご質問ご意見はございますか。

委員：これは金曜日の開館時間延長をやめるということですか。

事務局：いいえ、夏季期間を含めた全ての期間の延長を中止したいと考えております。

委員：参考に出ている「20時開館に必要な経費」ですが、これは以前からかかっていたのですか。

事務局：今までもかかっていた経費です。

委員：改めて、何時に切り上げるという認識でよかったですか。

事務局：昨年いただいた答申の通り、夏季とそれ以外の金曜日に、試行的に夜8時まで開館時間を延長してまいりましたが、この延長時間での利用率が3%と非常に低いものだったことから、全ての開館時間を夜7時までにしたと考えております。

委員長：では、牛久市立中央図書館の開館時間を夜7時までとしてよろしいでしょうか。

(各委員異議なし)

### 議題第2号 「牛久市子ども読書活動推進計画（第3次）」策定について

上記内容について、事務局より資料に基づき内容説明を行った。

委員長：牛久市子ども読書活動推進計画（第3次）について、ご質問ご意見はございますか。

委員：学校でもアンケート調査を実施しましたが、これがとてもよく、また、考えさせられました。本が好きという子どもがとても多いけれど、図書室で自分から積極的に本を借りるといって難しい。学校として自分で好きな本を選んで読める子どもたちを育てていかなければならないと感じます。また、うちどくという取り組みがありますが、親が読書をする姿を見て子どもも本を読むようになりますから、これは家の方が協力してくれるのがとてもよく、続けていきたい事業です。今後とも、学校と図書館で連携して情報共有できるといいと思います。

委員：朝読書をなくしている学校、なくそうとしている学校が多くあります。教職員の退勤時間を少しでも早く、子どもたちのため教材研究の時間を捻出したいという思いからです。この計画では、朝読書が組み込まれていますが、そのあたりはどうでしょうか。

事務局：計画策定ワーキング委員には司書教諭 2 名と学校司書 2 名をそれぞれ別の学校からお呼びしており、朝読書のない、あるいは、実施の困難な学校があることは聞き及んでいます。

事務局：朝読書を実施する、しないは、当然各学校の判断になると考えています。力を入れていきたいという学校もあることから計画案には掲載しております。

#### 4) その他

##### ■子どもたちの居場所としての図書館について

委員：子どもたちの居場所づくりの一環としての図書館というのを耳にしました。どのようなものなのでしょうか。

事務局：基本的に、図書館での居場所づくりは児童生徒の見守りをしたり、寄り添えるような資料コーナーを設置したりするような静的な取り組みですが、一部、指導課やきぼうの広場と連動した不登校児童の受入も実施しています。これは図書館に来館すると登校扱いになるというものですが、それぞれ事情も違いますので、相談しながら個別に対応を変えています。

牛久市：教育委員会としてお話しすると、不登校というのは今社会的な問題になっていまして、中学校だと空き教室などを利用して少しでも学校に通えるような仕組みがあるのですが、小学校はまだ整っていないため、図書室や保健室などがその役目をしています。そして、そのひとつの場所として図書館があるという認識をしていただければと思います。

##### ■購入雑誌について

委員：購入雑誌がどんどん減ってしまっているけれども、予算の関係でしょうか。

事務局：数年前まで 150 誌程度購入していましたが今は 72 誌となっています。牛久市全体の予算が縮小傾向にある中、購入数が減ったとしてもジャンルに偏り等が出ないように、専門職である司書が吟味して購入雑誌を決定しています。

##### ■漫画の購入について

委員：子どもたちの興味関心が読書から移っているというが、漫画などは置かないのでしょうか。

事務局：ほとんど置いていないのが現状です。収集方針として、受賞歴のあるものなど、ある程度の社会的評価が定まっているものに限られています。

委員：アニメ作品の原作など置いてあれば子どもたちも興味を持って来館するのでは。

事務局：人気作品のノベライズは当館にも所蔵があり、やはり人気があります。また、ヤングアダルトコーナーにはアニメ作品の原作小説も置いてあります。

委員長：自分の小さい頃は漫画なんて読むものじゃないと言われたが今はそうではない。もう少し範囲を広げ、子どもの興味関心を引くのもひとつの方法ではないでしょうか。

##### ■小学生の来館について

委員：小学生が来館するのはどの曜日・時間帯なのでしょうか。

事務局：やはり平日はあまり来館されません。土日祝日に親御さんといらっしゃることが多いかと思いますが、平日の夕方はお友達と一緒に遊びに来ている姿もあります。

## 6. 閉会